普及活動情勢報告（平成２９年２月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

ピーマン品目別検討会が土佐市で開催されました
～収量アップを目指して～

熱心に聞く生産者ら

２月６日、県域のピーマン品目別検討会が土佐市で開催され、生産者、関係機関など６６名が参加しました。

会では、いずれも炭酸ガス発生機を導入したほ場２か所で現地研修を行った後、農業技術センター施設野菜担当、園芸育種担当、担い手育成センターから試験概要が報告され、農業改良普及課からは視察圃場での試験状況を報告しました。「炭酸ガスの施用方法は？」、「プレナイトドロップの方法は？」、「生育診断をどのように利用していけばよいか？」等多くの質問がなされました。

農業改良普及課では、今後も実証ほの調査・データ収集を進め、情報提供を行い、環境制御技術の普及推進を図ります。

生産者の意見を次年度計画に生かします
～第２回中央西地区普及推進協議会開催～

所長挨拶を皮切りに実績を報告

農業改良普及課は、２月２２日土佐合同庁舎において、農業者や関係機関を集め、第２回中央西地区普及推進協議会を開催しました。協議会では、今年の普及指導実績報告と併せて、来年度予定されている普及計画についても意見交換しました。

委員からは、労働力確保、環境制御、６次産業化等について意見が出され、労働力確保の具体的な取り組みや、課題なども出されました。

農業改良普及課では、こうした協議会の機会を通じて得た農業者等の意見を、次年度の普及指導計画に生かしていきます。

生産者が丹精込めた柑橘類がズラリ！
～第１７回ＪＡとさし柑橘果実展示品評会開催される～

最終選考する審査員

第１７回ＪＡとさし柑橘果実展示品評会が１月１９日にＪＡとさし「みのり館」で開催されました。

土佐文旦４３点、不知火４点、八朔１点、せとか１点の計４９点の出品がありました。

農業改良普及課は、審査団の一員として、果実外観や品質について審査基準に則り、厳格に審査しました。

今年の土佐文旦の特徴は、やや糖度が低いものの、酸の抜けが良く、バランスの良い果実に仕上がっていました。

審査の結果、知事賞には、森　利夫さんの土佐文旦が選ばれました。

土佐文旦が大好きになったよ！
～ＪＡとさし土佐文旦部会が出前授業を実施～

皮のむき方を説明する生産者

１月２４日、高知市立鴨田小学校の４年生１３０名を対象に、高知県学校給食会主催の出前授業が開催されました。

農業改良普及課は、生産部会やＪＡ、給食会と協力し、授業内容の検討や進行、スライド作成等運営全般について支援しました。

授業では、初めに生産者や関係機関が、県産果物の特徴や文旦の栽培方法、文旦の食べ方等について、スライドで説明しました。その後、各自が皮むき器具「ムッキーちゃん」を使って文旦を試食しました。

児童からは「今まで食べた文旦の中で一番おいしい!」等の声が聞かれ、「文旦をどれくらい愛しているの？」「種はいくつ入っているの？」等多くの質問が飛び出しました。

農業改良普及課は、今後とも関係機関と連携し、食育活動を全面的に支援していきます。